

歌やおどりなどがとてもすばらしかったです。なぞなぞをみんなでこたえたりするのが楽しかったです。

おおなぞがおもしろかった。
なぞなぞの答えと一緒に考えながら最後まで楽しかったです。

うなぞをやっているところほんものみたいで
すごいと思いました。

問題に答えられて
うれしかった！

ひさしのゆうかんさが分かる話の中に
面白い所もたくさんあったり、私たちも
なぞなぞに参加することができて、
とても楽しかったです！



子どもも大人も楽しめた！

みなさんの感想

なぞなぞを一所懸命考えられた。
観客をまきこむのがおもしろかった。

奇想天外のストーリーだけど色々考えさせられる
テーマがあり、なぞなぞと一緒に考えられ、
あっという間の楽しい公演でした。いろいろ
なぞを残したままというのもとってもいいと
思いました。

子どもがよろこぶような仕掛けが
随所にあり、「さすが!」とおもいました。

みなさんに
楽しんでもらいました！



カドヤ食堂のなぞなぞ 上演のご案内

構成人数

3名

上演時間 予定

1時間

準備時間

3時間

片付け時間

1時間30分

小学校作品一覧は
コチラ！



〒465-0018 名古屋市中東区八前一丁目112番地
TEL.052-772-1882
FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんこ
とは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたち
のところへ真直ぐ走りたいという願いを込めて付けられ
ました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を
続け、今では活動は全国、海外に及びます。
1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自ら
の力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を
創りたいと活動を続けています。



劇団 うりんこ

原作：富安陽子「カドヤ食堂のなぞなぞ」(新日本出版社)

カドヤ食堂の なぞなぞ



脚本・演出：佃 典彦
美術：青木拓也
照明：四方あさお
衣装：木場絵理香
音楽・音響：ノノヤママナコ
振付：下出祐子
写真：服部義安
映像：山内崇裕
宣伝美術：くろだりか

うな丼のナゾナゾ王者が挑む冒険コメディ！

幻のうな井を求めて さあ冒険だ!

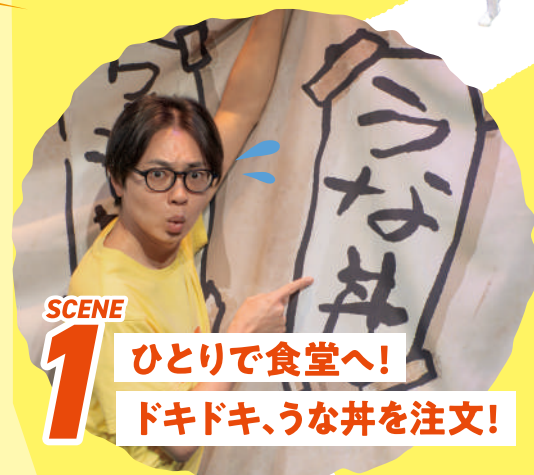


はたして、幻のうな丼を 食べられるのか!?

赤いよろいの腰曲がり、
腕はチョッキン
これなあ～んだ？



SCENE
7 田んぼの番人が現る!
真剣なぞなぞ対決だ!

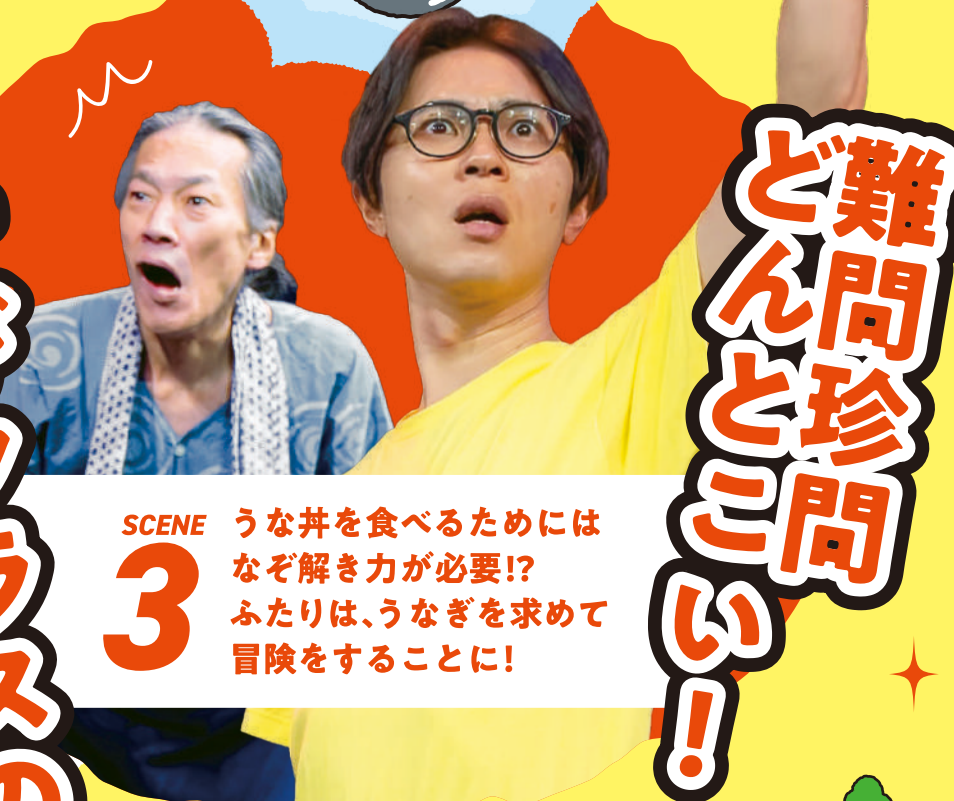


SCENE
1 **ひとりで食堂へ！**
ドキドキ、うな丼を注文！



君に解けるか？
なぞなぞ100連発！

さすな
ぞく
王者の



SCENE うな丼を食べるためには
3 なぞ解き力が必要!?
ふたりは、うなぎを求めて
冒険をすることに!

と難問と珍問
こい！

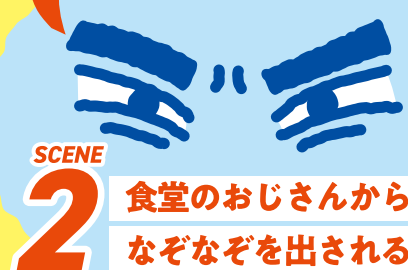


SCENE
6 先には通さない!
カエルが合唱攻撃!

森の先で
田んぼを発見！

行くぞー

パンはパンでも
食べられないパンは
なあ〜んだ？



SCENE
2 食堂のおじさんから
なぜなのを出される



食堂の裏口は
森に繋がっていた！

くり



SCENE
4 おじさんのブルースで
ちょっぴり切なくなる？



SCENE
5 歌って、踊って、
楽しくなる!!



STORY ストーリー

駅前商店街にあるおんぼろ食堂、カドヤ食堂には、誰も食べたことがない幻のメニュー「うな丼」がある。留守番で夕食を一人で食べる事になった主人公ひさし。思い切ってカドヤ食堂で幻の「うな丼」を頼んでみた。すると食堂のおじさんは、「なぞなぞはとくいかい？」とって、ひさしを連れて裏口の小さなドアから暗い外へ出た。月明かりの中に広がる田んぼ、響き渡るカエルの声…。そこでひさしを待ち受けていたのは、田うなぎを守るなぞなぞの番人だった！

果たして、ひさしはうな丼を食べられるのか？



MESSAGE メッセージ

クイズが実際にある「答え」を考えさせる「知識を問うもの」に対して、なぞなぞは明確な答えがあるわけではなく、「ユーモアと柔軟な思考」で「自らの答え」を見つけ出す遊びです。正解があった時代から正解がない時代へ入ったといわれる今日、まさにこの「自らの答え」を見つけ出す力が子どもたちには必要です。自分なりのオリジナルの答えで自信をもってチャレンジして欲しい!という願いを込めて、楽しいなぞなぞを盛り込んだこのお芝居をお届けします。子どもたちは、カドヤのおじさんと謎の番人から出されるなぞなぞを夢中になって考え、見つけ出した自分の答えに歓喜の声を上げることでしょ。う。

いざ、ひさしと一緒に、謎の番人との対決へ!